

市内外小中学校に係る閉校式の開催時期について

1 背景

本市では、学校再編に伴う閉校式（市主催）の開催時期を3月としているが、式典の開催に協力をいただいている学校側からは、卒業式や新設校の開校準備、教職員の人事異動などと重なり負担が大きいとの声が寄せられている。

2 市内におけるこれまでの事例

閉校年度	新校名	旧校名	閉校式
令和4年	津山小 (新設)	津山小	3月18日(土)
		横山小	3月18日(土)
令和6年	東和小 (新設)	米谷小	3月21日(金)
		錦織小	3月22日(土)
		米川小	3月21日(金)

3 県内自治体の事例

自治体	閉校年度	新校名	旧校名	閉校式
石巻市	令和6年	桃生小 (新設)	桃生小	2月8日(土)
			中津山第一小	2月22日(土)
			中津山第二小	2月22日(土)
大崎市	令和6年	鳴子小中 (新設)	鳴子小	2月16日(日)
			川渡小	2月15日(土)
			鬼首小	2月15日(土)
			鳴子中	2月22日(土)
美里町	令和6年	美里中 (新設)	小牛田中	2月14日(金)
			不動堂中	2月20日(木)
			南郷中	2月16日(日)

【傾向】

令和6年度に閉校式を行った県内の自治体は、すべて2月に開催している。

4 閉校式開催時期のメリット・デメリット

時期	メリット	デメリット
2月	・学校行事が分散して学校の負担減 ・開校準備期間の確保が容易 ・来賓の日程調整が容易	・閉校の実感がやや薄れる ・会場設営の負担増（単独開催）
3月	・閉校への意識をより高められる ・会場設営の負担軽減(卒業式前日など)	・学校行事が集中して学校側の負担増 ・開校準備期間の確保が困難 ・来賓の日程調整が困難